

泉とのっこ町内会の定期総会開催にあたり

会長 浅野 昭男

昨年の泉とのっこ町内会定期総会で会長職を預かり、不慣れな中でのスタートでしたが、この一年間、会員の皆様をはじめ、役員各位、さらには関係団体の皆様のご理解とご協力のもと、町内会運営に携わることができました。

事業計画に掲げた各種事業の実施に向け、役員一同全力で取り組み、概ね計画どおりに執行することができましたこと、改めて皆様に感謝申し上げます。

さて、現在の会員数（平成27年2月末）は、昨年同期より65世帯増の825世帯となっており、近隣地域の中でも大きな町内会となっております。

当町内会は、若い世代が多く、また、町内では子供たちの明るく活発な声が聞こえてきます。このことは、当町内会が、将来に向けて更なる発展の可能性を持った地域である証と感じております。

この一年間を振り返ってみますと、会員が一同に会する主要行事である7月の「夏祭り」は、800名を超える方々に参加していただき、地域の子供たちによる和太鼓やよさこい踊り、レクダンスが披露されるなど、地域が一体となった楽しい一日であったことが思い出されます。

また、10月の「防災訓練」と「親睦芋煮会」にも、800名を超える方々に参加していただき、より近所付き合いを深めていただく、よい機会となりました。「防災訓練」では、泉消防署の全面的なご協力により、消火訓練、通報訓練、濃煙体験等も実施され、各家庭における防災意識の向上が図られたものと思っております。

さらには、昨年の定期総会でご承認いただいた、「明るく住みよい街」を目指した防犯対策事業である街路灯の事業については、2か年にわたる計画ではありますが、平成26年度の工事により、新たに86灯の街路灯が設置され、町内の安全・安心の確保が図られました。

当町内会では、現役世代が多いことから、役員の担い手が不足しており、毎年、その確保に苦慮している状況にありますが、今後も、会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、役員一体となって、町内会を運営していくことが必要であると考えております。

当町内会は、ご近所のお世話役である班長をはじめ、役員各位の昼夜を問わない献身的な努力に支えられた運営となっており、この一年間、会長として、本当に頭の下がる思いであり、感謝の念に堪えません。

最後になりますが、今後とも「明るく住みよい街」を目指し、会員の皆様と一緒に町内会を運営してまいりたいと考えておりますので、引き続き、町内会活動に対する皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。